

子どもたちが心豊かで  
争いのない明るい社会に…



● 安城市更生保護女性会  
の皆さん

法務大臣の推薦を経て、(財)日立みらい財団から平成16年度の「更生保護奨励賞」が贈られました。青少年の非行の防止活動など長年にわたって地域に密着した活動に取り組んできたことが評価され、今回の表彰となりました。

安城市更生保護女性会は、女性として、母親としての立場から、地域の犯罪予防と犯罪や非行に陥った人たちの更生に協力し、明るい社会を実現しようとするボランティアの団体です。昭和50年に設立され、現在130人の会員が地道な活動を続けています。

● わたしたちの活動の5本柱

町内会や学校区単位などで「三三集会」を行って地域の方々とふれあいながら温かい人間関係を作る、犯罪・非行予防活動。罪を犯した人が早く更生できるように行う更生保護施設への援助。そして保護観察対象者への援助。自分たち自身の研さん。そして子育て支援がわたしたちの活動の5本柱です。

● 高校生とのカーネーション作り

幼い子どもたちの健やかな成長を願ってカーネーションのプレゼント運動も行っています。そのカーネーションを高校生と作るのですが、作業中には生徒たちが、先生に話せないようなことも、おばさん相手ということなどで気楽にしゃべってくれます。生徒たちには「子どもは親の背を見て育つから、これから子どもを育てるあなたたちがしっかりとしないといけないよ」と偉そうに語りかけています(笑)。こうした高校生とのふれあいも安城の更生保護女性会ならではの活動です。

● 子育て支援に最も力を入れていきます

例えば少年院にいる少年たちを激励に行き、話してみるとすごく素直。何でここにいるの?と思ってしまうような少年たちです。少年たちの話を聞き、突き詰めて考えると、生い立ち、親子関係、家庭環境に必ず問題があります。父母の仲が悪いと子どもの居場所もなくなります。何よりもまず明るく楽しい家庭を築くことが大切です。

「三つ子の魂百まで」と言うように、人格形成の基礎となる幼児期の子育てが最も大切です。わたしたちは子育ての経験者として、持っている知恵を伝えようと、若いお母さんやお父さんの子育てを支援しています。

これからも、誰もが心豊かに生きられる明るい社会になることを願って活動を続けていきます。

